

景光天皇 成務天皇

則留之

則ち留りて

【之】

04

天皇異之

天皇異(あやし)びたまいて

參向而啓之

參向(もうでき)て啓(もう)して

願急擊之

願はくは急ぎ撃ちたまへ

05

乃車駕止之

乃ち車駕止みぬ

悉捕誅之

悉に捕へて誅しつ

爰屋主忍男武雄心命詣之

爰に屋主忍男武雄心命詣(いでま)して

12

其聞天皇車駕而自奉迎之

其れ天皇車駕すと聞りて自ら迎へ奉りて

06

左右奏言之

左右奏して言(もう)さく

亦衆類多之

亦衆類多し

天皇則留而通之

天皇則ち留めて通(め)しつ

天皇惡之

天皇惡したまひて

久之不堪陪於掖庭

久しく掖庭に陪(つか)へまつるに堪えじ

權興宮室而居之

權(かり)に宮室を興(た)てて居します

天皇聽之

天皇聽(ゆる)したまふ

仍與群臣議之

仍ち群臣と議(は)りて

09

熊襲反之不朝貢

熊襲(くまそ)反(そむ)きて朝貢(みつきたてまつ)らず

時賊虜之矢横自山射之

時に賊虜の矢、横(よこしま)に山より射る

皆自投澗谷而死之

皆な自ら澗谷に投(おち)りて死ぬ

11

時天皇南望之

時に天皇南を望んで

天皇祈之

天皇祈(うけ)ひて

因蹶之

因りて蹶(ふ)みたまふ

13

起行宮以居之

行宮を起(た)てて居(ま)します

14

朕聞之

朕聞く

乃醉而寐之

乃ち酔ひて寐ぬ

16

時東望之

時に東を望(みそなは)して

憶京都而歌之

京都を憶びたまひて歌して

17

於是天皇遙望之

是に天皇遙に望(おせ)りて

而諮之

諮(もう)して

依獻大御食而其族會之

大御食を獻らむとするに依りて其の族會(つど)へり

18

則從使詣之

則ち使いに從ひて詣(まい)りたり

故遣兵誅之

故、兵を遣して誅(つみな)ふ

18

則仰之

則ち仰ぎて

20

因指火往之

因て火を指して往く

22

以遊詣之

遊詣(いた)りて

23

爰天皇問之

爰に天皇問ひて

24

詔之

詔して

29

自東國還之

東國より還て

亦土地沃壤而曠之

亦土地沃壤(こ)えて曠し

30

熊襲亦反之

熊襲亦反きて

31

或者啓之
或者啓(もう)して

則從日本武尊而行之
則ち日本武尊に従ひて行く

32

且待之
且(しばし)待ちたまへ

時日本武尊留劔待之
時に日本武尊、劔を留め待ちたまふ

川上臯帥啓之
川上臯帥啓(もう)して

川上臯帥亦啓之
川上臯帥亦啓(もう)して

聽之
聽(ゆる)さむ

乃通胸而殺之
乃ち胸を通して殺したまひつ

則殺之
則ち殺しつ

35

時大碓皇子愕然之
時に大碓皇子、愕然(お)ちて

於日本武尊、雄誥之
是に日本武尊、雄誥(おたけび)して

今更東夷叛之
今更た東の夷叛(そむ)けり

臣雖勞之
臣勞(いたは)しと雖も

卽知之
卽ち知りぬ

示之以威
示すに威を以て

懷之以德
懷くるに徳を以て

以再拜奏之
再拜(おが)みたまひて奏(そう)して

仍重再拜之
仍りて重ねて再拜みまつる

36

日本武尊發路之
日本武尊發路(みちだち)したまふ

37

故辭之
故、辭す

慎之
慎め

38

其處賊陽從之
其の處の賊陽(いつわ)りて従う

則以燧出火之

則ち燧を以て火を出して

則中眼而殺之

則ち眼に中りて殺しつ

則悉焚其賊衆而滅之

則ち悉に其の賊衆を焚きて滅しつ

隨狗而行之

狗に隨いて行でまして

乃披瀾入之

乃ち瀾を披(おしわ)けて入りぬ

自越出而遇之

越より出でて遇(まうあ)ひぬ

而心裏知之不可勝

心の裏にえ勝ちまつるまじきことを知りて

而徒行之

徒に行でます

望拜之

望み拜みて

不知主神化蛇之謂

主神の蛇と化れるを知らずして謂はく

若神之乎

若(けだ)し神か

乃飲其水而醒之

乃ち其の水を飲して醒めぬ

王對之

王對へて

然稍起之

然して稍(やうやく)に起ちて

自日高見國還之

日高見國より還りて

而痛甚之

痛甚なり

以歌之問侍者

歌を以て侍者に問ひて

奏之於天皇

天皇に奏して

而東南望之三歎

東南を望みて三たび歎じて

愷悌還之

愷悌(いくさと)けて還れり

既逮于峯而飢之

既に峯に逮りて飢(つか)れたまふ

無誰語之

誰も語ること無し

王異之

王異(あやし)びたまひて

天皇聞之

天皇聞しめて

因以大歎之

因りて大いに歎きて

49

臥病而薨之

病に臥して薨りぬ

從陵出之

陵より出でて

50

則行治之

則ち行きて治めて

指倭國而飛之

倭國を指さして飛びたまふ

開其棺櫬而視之

其の棺櫬を開きて視たれまつれば

叩頭而來之

叩頭して來り

明衣空留而屍骨無之

明衣空しく留めて屍骨無し

58

初天皇與武内宿禰同日生之

初、天皇と武内宿禰と同じ日に生まれませり

40

天皇召之

天皇召して

59

詔之

詔して

因以奏之

因りて奏して

時天皇謂之

時に天皇謂(かた)りて

41

天皇聞之

天皇聞きて

【者】

12

若強喚者

若し強(あながち)に喚さば

46

白蛤爲膾而進之

白蛤を膾に爲り進(たてまつ)る

朕得滅土蜘蛛者

朕土蜘蛛を滅すこと得むとならば

47

十二月從東國還之

十二月、東國より還りて